



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / ダリア、ホウレンソウ

# 久家 功さん (34歳) (営農地 / 嘉麻市九郎原)

## 花づくりに魅せられて

《就農のきっかけ》

### 親とはちがう自分の農業を目指して

久家さんの実家は、「イチゴ」と「メロン」を栽培している専業農家で、子どもの頃から農業を継ぐものだと思っていたそうです。

もともと花が大好きで、農業をするなら「花づくり」と決めていた久家さんは、地元の農業高校、県農業大学校に進学し、「シンビジューム」や「キク」の栽培方法を学び、19才で就農しました。新たに250坪の花栽培ハウスを建設し、「アスター」「スターチス」「トルコギキョウ」「ストック」「デルフィニューム」等いろいろな草花の生産に取り組むことになりました。

《これまでの過程》

### 花づくりに魅せられて

就農当初は、父親の農業経営を手伝うかたわら、県普及指導センターからの指導を参考に試行錯誤で花の栽培技術を開発していきました。

順調にステップアップしてきた久家さんですが、23才の時、農業以外の仕事がやりたくなくなり、花屋さんで半年ほど働いたことがあるそうです。花屋の仕事は楽しく、給料もよかったのですが、農業を離れてみて「自分は花づくりが本当に好きなんだ、作る側で頑張りたい」という思いを実感したとのことでした。

24才の頃、父親の経営を引き継ぐこととなった久家さんは、「イチゴ」と「メロン」の施設をすべて花き生産に切り替えました。花の規模拡大にとまない、労力配分や栽培品目を見直す必要が出てきました。

当時、地域の花づくりの先輩から「ダリア」を一緒に作ろうとすすめられていました。100坪程度の栽培から始めてみましたが、次第にダリアの魅力に惹かれるようになり、自分の経営にもマッチしていたことから、現在は1000坪のハウスでダリア専作経営を行っています。



プロフィール

■家族構成 / 祖父、祖母、父、母、本人 ■営農年数 / 約15年  
■耕作(経営)面積 / 0.4ha ■販路 / JA共販

《これからの展望》

### 夢は日本一のダリア農家

ダリアはプライダル需要がほとんどで、生産者も少ないため、市場からの注文に柔軟に対応できるよう、規模拡大と品種の選択をすすめ、年間10万本以上の出荷を目標に「日本一のダリア農家」を目指しています。

また、ダリアの魅力は、豊富な花色や花型なので、色鮮やかでボリュームのある品種がお客さんに喜ばれます。育種技術を学び、花色がグリーンオリジナル品種育成が夢だそうです。

さらに、地域の仲間づくりも大切だと久家さんは考えています。現在8名の花き部会で活動していますが、もっと仲間を増やし、地域を花であふれさせたいと思っています。



### Good 成功のためのポイント

わからないことは、何でも聞くこと! 年上でも年下でも、上手く作っている人の話を聞きに行き、聞いたことは必ず自分でやってみることが大切です。

初めて1、2年はなにをやっているかわかりません。経営が成り立つには最低5年はかかると思います。長期の展望をもって、すぐあきらめないことです。